

NPO法人 結城里山の会

森林や里山は私たちの生活に欠かせない存在です。二酸化炭素(CO₂)の吸収や酸素の生成、生物多様性の維持、水の保全、土砂災害の防止など、多方面で環境を支えています。こうした里山や森林を将来にわたり維持していくために、日々活動を続けています。



主な活動

森林保全活動(結城市健康の森)



▲チェーンソーや刈り払い機を使用し、森の整備、間伐作業などを行っています。

森の授業支援



▲市内小学校を対象に、植林などの授業を実施しています。

各種イベントの開催

里山発見レンジャーや健康の森フェスティバルなど、季節に合わせた体験や自然体験を楽しむイベントを企画し、開催しています。



▶ 次の世代の子どもたちへ“遊び・学ぶ”自然をつなぐために——

結城里山の会は2009年に設立され、現在も積極的に地域の自然保護や子どもたちの健全育成に努めています。結城市健康の森を中心に、放置された山林の整備やイベント開催、学校教育への支援を重要な活動として実施しています。特にNPO法人化を果たした2024年以降は、情報発信を強化し、SNSを活用して若い世代に向けた啓発活動を展開中です。

活動のなかで、里山が整備されていく様子を見ることは大きな喜びです。また、子どもたちや地域住民が森で遊び学ぶ姿や笑顔に触れることは、会員たちにとってかけがえのない経験であり、参加者との交流が自然の魅力さをさらに広げています。春には満開の桜や可憐な草花が咲き誇る自然を楽しむことができる点も、大きな魅力の一つです。

その一方で、整備作業には危険が伴います。特に、チェーンソーや刈り払い機などの機材を扱う際には研修を受けた会員が作業を行うほか、万が一に備えたボランティア保険の加入も行っています。さらに、イベント開催の際には、準備段階から綿密な計画が必要となります。その努力は、活動が安全かつ楽しく行われるために非常に重要です。

4月11日には「お花見と森の音楽祭」と題して、交流橋の開通式と野外音楽会を開催予定です。ぜひ、結城市健康の森に足を運び、豊かな里山の魅力に触れてみてください。

4月11日にお花見と森の音楽祭を行います。ぜひ遊びに来てください！



結城里山の会
えびさわ いさお
海老澤 功さん

まちづくりで大切なことは

きょうかんりよく りたりよく
「共感力」と「利他力」



ゆうき ふみたか
結城 史隆さん

白鷗大学名誉教授。専門は文化人類学。結城市協働のまちづくり推進委員会アドバイザーなどを長年にわたり務める。

市

市民活動やボランティア活動で大切なことは、「共感力」と「利他力」です。共感力は「相手の気持ちや困っていることを分かってもらう力」のことです。利他力は「自分だけじゃなく、ほかの人やまちのために行動する力」のことです。つまり、共感力で「皆がどう思っているかを理解」し、利他力で「皆のために行動」する、それがまちづくりの本質といえるでしょう。

この二つがある所には、同じ思いをもった仲間がたくさん集まります。仲間が集まると、「〇〇をしたい」「〇〇がほしい」といった前向きなアイデアがどんどん生まれます。仲間と同じ目標に向かって活動を共にすると、達成感を感じるようになり、その活動が人生の楽しみになります。結果として、活力あふれる人々が増え、まち全体が豊かになっていきます。

ただ、何も崇高な理念を持つ必要はありません。例えば、公園や道路にゴミが落ちていたらちよっと拾ってみる。これも立派なまちづくりですし、これだけで皆がうれしく感じる場所になります。市民が互いに助け合うまちは、信頼や優しさが自然と広がり、より住みやすく楽しい場所になります。

もし、何をすればいいかわからないという方は、ふらっと「まち歩き」をしてみてください。「困っているような人がいるな」「危ない場所や汚れた場所があるな」「活用できそうな資源があるな」など、普段は見過ごしていた地域の課題に気づくことが、まちを変える第一歩となります。

▶ 市民活動やボランティア活動に興味が出てきたら…

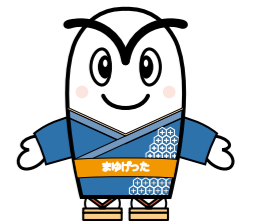


「結城市民活動支援センター」に登録している団体一覧や、まちづくり活動のトピックスを紹介する「しみん活動情報紙」を、市ホームページで公開しています。

また、「結城市協働のまちづくり推進事業補助金」制度があり、補助対象経費の2分の1(上限10万円)を補助しています。

詳しくは、当号のお知らせ版か、右のQRコードから市ホームページをご確認ください。

結城市の補助金制度がある！



市ホームページ